

長野地区社会保障推進協議会ニュース

長野地区社保協は、社会保障についての相談窓口です。

社会保障制度の改善をめざして、労働組合、医療、福祉関連の諸団体、

市民団体、女性団体などが共同して運動をすすめる組織です。(活動地域：長野市、上水内郡)



長野地区社保協・活動報告

飯綱町と信濃町議会 医療機関・介護事業所へ の緊急財政支援求める 意見書を国に提出！

長野地区社保協の陳情が採択される

12月議会で、飯綱町と信濃町議会は、長野地区社保協提出の、国に対して「すべての医療機関・介護事業所への緊急財政支援を求める意見書」の提出を求める陳情を採択し、意見書を提出しました。(既報のとおり、長野市議会も同趣旨の意見書を提出。)

地域医療と介護を守るために財政支援が必要

新型コロナウイルス感染症は、「第3波」といえる感染拡大が起きています。感染の急拡大を止め、医療崩壊を起こさないための緊急の対応が必要です。全国の医療機関・介護事業所において3月以降、患者の減少等により大幅減収となり、利益率の悪化が継続しました。現在も医療機関・介護事業所の収益は、大幅減収を取り戻すには及んでいません。

病院の経営状況の悪化は深刻であり長期化が予想され、適切な対応がなされない場合には、病院が経営破綻し、新型コロナウイルス感染症対応が不可能になるばかりか、地域医療が崩壊する危険性すらあります。緊急的な財政支援が必要です。

長野市老人クラブ連合会 75歳以上医療費2割化 反対署名 5969筆！

コロナ禍でも 昨年を上回る署名数

長野地区社保協は、昨年に引き続いて今年も、長野市老人クラブ連合会に75歳以上医療費窓口負担2割化に反対する請願署名のとりくみをお願いしてきました。昨年も4000筆以上の署名を集めた長野市老人クラブ連合会は、今年も積極的に署名をよびかけ、昨年を上回る5969筆を集約。コロナ禍で会合を持つこと自体に困難がある中、多数の署名を集めました。

この間、菅自公政権は、75歳以上の高齢者の医療費窓口負担で患者本人に2割負担を導入することを決めました。全世代型社会保障検討会議が最終報告に盛り込み、12月15日には閣議決定しています。菅政権は2021年の通常国会に関連法案を提出する構えです。

世論と運動を広げ 法案提出を断念させよう

しかしながら私たちが運動を広げ、法案提出を断念させれば、負担増を止めることはできます。まさに今、高齢者の命と健康を脅かす2割負担導入を阻止する世論と運動を広げることが急務です。高齢者の医療費に占める国庫負担分は、老人保健制度が始まった1983年の45%から35%に減少しました。国庫負担を45%に戻し、国としての公的役割を果たすべきです。引き続き運動に取り組んでいきましょう。